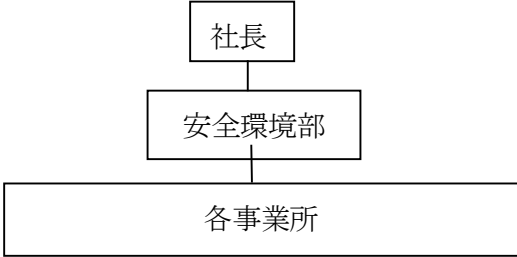


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 4月 19日	
石川県知事	殿
提出者	
住 所 石川県金沢市神宮寺3-1-20 コマツ石川(株)本社ビル2F	
氏 名 (株)システムハウスアールアンドシー北陸営業所 所長 中川 正夫 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 076-252-7281	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(株)システムハウスアールアンドシー北陸営業所
事業場の所在地	石川県金沢市神宮寺3-1-20 コマツ石川(株)本社ビル2F
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	8億2300万円
③従業員数	11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
 <pre>graph TD; A[社長] --- B[安全環境部]; B --- C[各事業所];</pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	排出量	-
	(これまでに実施した取組) ・コンクリートがらの排出抑制のため、既存コンクリート撤去→新設する計画から、既存コンクリートに打ち増しする計画に変更	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	排出量	-
	(今後実施する予定の取組) ・排出される産業廃棄物が少なくなるような施工方法を選定	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリートとアスファルトコンクリートが混合しないように分別	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	-
	全処理委託量	-	-
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-
	再生利用業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-
	(これまでに実施した取組) ・適切な処理を行える業者を選定 ・処理業者の現地確認		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	-
	全処理委託量	-	-
	優良認定処理業者への 処理委託量	-	-
	再生利用業者への 処理委託量	-	-
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	-
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者から選定を行う ・電子マニフェスト対応可能な業者を優先して選定する ・産業廃棄物の再利用が可能な業者を選定する		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物に一連の処理の工程

- ・ 廃プラスチック類：全量処理委託
- ・ 紙くず：処分業者に委託、焼却処理・一部ダンボールに再利用
- ・ 木くず：処分業者に委託、破碎処理→製紙チップ・燃料チップに再資源化
- ・ 金属くず：処分業者に委託、リサイクル処理
- ・ ガラスくず、陶磁器くず：全量処理委託（破碎処理）
- ・ グラスウール：全量処理委託（破碎処理）
- ・ 石膏ボード：全量処理委託（破碎処理）
- ・ その他がれき：処分業者に委託、破碎→埋め立て処理・再生砕石に再資源化
- ・ コンクリートがら：処分業者に委託、破碎→再生砕石に再資源化
- ・ アスファルトがら：処分業者に委託、破碎→再生路盤材に再資源化

別紙 2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	排出量
廃プラスチック類	40.635 t
紙くず	8.46 t
木くず	41.79 t
金属くず	28.279 t
ガラスくず、陶磁器くず	3.25 t
グラスウール	0.06 t
石膏ボード	8.33 t
その他がれき	218.394 t
コンクリートがら	734.02 t
アスファルトがら	75.52 t
安定型建設混合廃棄物	2.76 t
管理型建設混合廃棄物	0.05 t
合計	1161.538 t

②計画

産業廃棄物の種類	排出量
廃プラスチック類	35 t
紙くず	5 t
木くず	35 t
金属くず	25 t
ガラスくず、陶磁器くず	2.5 t
グラスウール	0.05 t
石膏ボード	5 t
その他がれき	160 t
コンクリートがら	680 t
アスファルトがら	50 t
安定型建設混合廃棄物	2 t
管理型建設混合廃棄物	0.03 t
合計	999.58 t

別紙 3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず、陶磁器くず	グラスウール
全処理委託量	40.635 t	8.46 t	41.79 t	28.279 t	3.25 t	0.06 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0.55 t	41.79 t	28.279 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行うへの処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	石膏ボード	その他がれき	コンクリートがら	アスファルトがら	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	8.33 t	218.394 t	734.02 t	75.52 t	2.76 t	0.05 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	208.33 t	467.23 t	39.28 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	217.062 t	734.02 t	75.52 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行うへの処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず、陶磁器くず	グラスウール
全処理委託量	35 t	5 t	35 t	25 t	2.5 t	0.05 t
優良認定処理業者への処理委託量	15 t	2t	20 t	20 t	1 t	0.05 t
再生利用業者への処理委託量	20 t	2.5 t	35 t	25 t	1 t	0.05 t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行うへの処理委託量						
産業廃棄物の種類	石膏ボード	その他がれき	コンクリートがら	アスファルトがら	安定型建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	5 t	160 t	680 t	50 t	2 t	0.03 t
優良認定処理業者への処理委託量	2t	160 t	680 t	50 t	0.05 t	0.03 t
再生利用業者への処理委託量	2t	160 t	680 t	50 t	0.05 t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行うへの処理委託量						